

国際開発アジェンダとT20 Japan

TF5: アフリカとの協力
～TFの概要、債務持続性～

中田 亮輔
JICAチーフエコノミスト

TFの問題意識

- 2000年代のアフリカの高成長。しかし、マクロ経済の成長の一方で、雇用の停滞、脆弱層の存在。
- 足元では、世界的な成長停滞見通しの中で、経済の脆弱性が上昇。
 - アフリカ自身の成長率の低下
 - 商品価格の低迷
 - 債務状況の悪化傾向
- 雇用創出に向けた工業化の推進。生産技術のデジタル化がアフリカ経済に及ぼす影響。非資源民間投資の拡大と、スピルオーバー効果。
- 生存水準の零細農業からの脱却。生産性向上、アグリビジネスの発展、雇用の受け皿としての魅力。
- SDG達成に向けた安定的な資金調達（対外借り入れ、国内資金動員）。

Africa Standing Group

- アフリカの発展には、G20の協調行動が継続的に必要との問題意識あり。
- アフリカ・ドイツ・アルゼンチン等のシンクタンク、UNECAが、2017年に「T20アフリカ常設グループ」を形成。
<https://t20argentina.org/publicacion/t20-africa-g20-and-africa-assessing-our-impact-and-influence/>
- アルゼンチンT20において、アフリカのポリシーブリーフ7本を刊行（民間投資、G20によるアフリカ支援、地域統合と移民、高等教育・職業訓練、課税の透明性、第4次産業革命）
- 本年の日本T20においても、同グループを中心に、JICA、アフリカ開発銀行等も参加してポリシーブリーフを作成。

TF5 ポリシーブリーフ

1. Fiscal and Debt Sustainability in Africa
2. G20 Compact with Africa
3. Industrial Development and ICT in Africa
4. Linking Smallholder Production with Value-Added Food Markets
5. Sustainable Prevention of Food Crises in Sub-Saharan Africa
6. Tax Challenges of Digitalization in Africa

主な提言内容(1)

- 民間投資

- Compact with Africaの活性化に向け、Compactチームと民間セクター・グループとの関与、対話の強化。
- アフリカ域内貿易の促進、IT活用による域内貿易制度の簡素化。

- 工業化

- 経済のデジタル化に対応したデジタル・インフラの整備、教育・職業訓練等の見直し。データの所有、域内のデータシェアに必要な法整備。
- 生産性・競争力向上、直接投資からのスピルオーバー強化に向けた経営能力強化(カイゼン等)。正式教育等の便益を受けていない弱者層に対するIT技術導入支援。
- アフリカ域内でのeコマース促進に向けた通関等のデジタル化。

主な提言内容(2)

- 農業開発／食糧安全保障

- 生存水準の零細農業を、労働市場に参入する若者層に魅力のある雇用先とするため、農業ビジネスの育成と食品市場とのリンケージ強化。
- CAADP枠組み内で、食品加工産業の国家農業投資計画への統合。
- G20諸国の自国内の農業政策(補助金、非関税障壁)の見直し。
- コメ生産の拡大に向けて、年間を通しての作付け期間の長期化に向けた灌漑インフラ整備、農民のキャパシティ・ビルディング。

- 資金調達のための税制改革

- 海外企業の課税逃れ措置(恒久的施設回避)へ対処するための域内共通の対応。
- 国際的課税制度の協議へのアフリカ諸国の参加拡大。

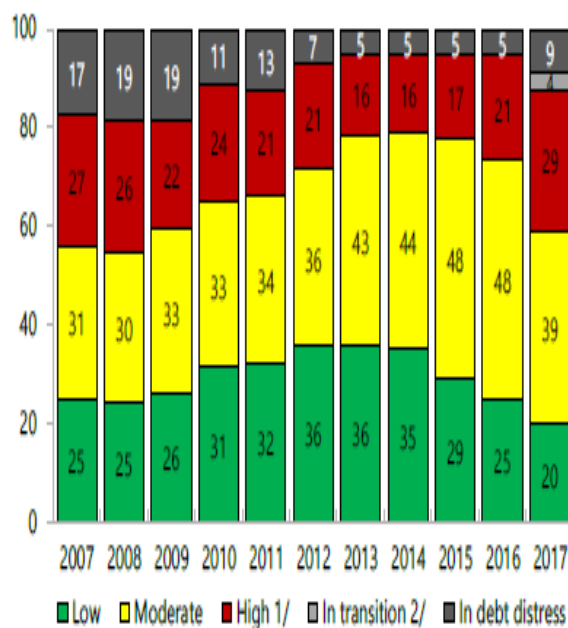
アフリカ債務の持続性について

- 2000年代前半から実施された債務削減イニシアティブにより、アフリカ諸国の債務状況は大きく改善。
 - その後の経済成長（主に資源価格の上昇が主因だが）もあり、近年まで債務問題はほぼ議論とならず。
- しかし足元での状況悪化。
 - 世界金融危機後の経済軟化（資源価格低下）、財政出動要請。
 - 先進国の低金利環境下での民間投資資金の流入。
 - 中国による準商業融資。
- IMF・世銀分類による低所得国70カ国（うちアフリカ38カ国）のうち、7カ国が「債務不履行状態」（同6カ国）、24カ国が「高リスク」（同11カ国）。（2019年1月時点）

債務状況の悪化、債権者構成の変化

Figure 33. Evolution of Risk of Debt Distress

(in percent of PRGT-Eligible LIDCs with DSAs)



Source: LIC DSA database.

1/ Ethiopia was assessed as high risk in its latest DSA, which was approved in Jan., 2018.

2/ In transition countries are not yet formally rated in the DSA, but moving towards distress.

Table 4. Total Public and Publicly Guaranteed Debt by Creditor, 2007–16

(in percent of GDP)

	All LIDCs 1/ (in percent of GDP)			Post-HIPC LIDCs in Debt Difficulties 1/ (in percent of GDP)		
	2007	2013	2016	2007	2013	2016
Total	47.1	39.8	52.7	44.7	41.2	72.1
External	36.5	28.7	37.3	32.8	30.3	53.4
Multilateral, o/w	19.6	14.4	15.7	10.5	12.1	15.9
WB, IDB, IMF, AfDB, AsDB	16.8	9.4	9.9	6.6	6.4	8.2
Other	2.8	5.1	5.8	4.0	5.7	7.7
Bilateral, o/w	14.2	11.4	16.0	17.3	12.9	22.2
Paris Club	7.4	2.3	2.2	8.0	1.8	2.8
Non-Paris Club, o/w	6.8	9.1	13.8	9.3	11.1	19.4
China	0.3	2.5	4.2	0.2	6.2	11.6
Commercial, o/w	2.7	2.9	5.6	4.9	5.2	15.3
Bonds	0.5	0.6	1.4	1.0	1.6	4.2
Commercial banks	1.1	0.8	1.1	0.9	1.4	2.9
Other	1.1	1.5	3.2	2.9	2.3	8.2
Domestic, o/w	10.5	11.1	15.3	12.0	11.0	18.7
Central bank claim (net)	-0.8	0.3	2.8	-1.1	0.4	4.3
Deposit money banks	0.6	2.6	6.2	0.0	2.7	6.9
Non-banks	10.7	8.2	6.3	13.0	7.9	7.6
<i>Memorandum:</i>						
Domestic, o/w by instrument						
Marketable	3.1	5.9	7.0	5.9	7.2	9.1
Non-marketable	7.4	5.2	8.3	6.1	3.8	9.6

1/ Based on 37 LIDCs where continuous data is available from 2007 to 2016.

1/ Countries included are: Cameroon, Chad, Congo, Ethiopia, Ghana, Mauritania, Mozambique, and Zambia.

Note: Figures are in simple averages, and may be overly influenced by the experience of countries with very high levels of debt. External and domestic debt defined based on currency denomination. Other commercial creditors include oil traders.

Sources: 2017 Survey of IMF country desks; BIS-IMF-OECD-WB Joint External Debt Statistics; WB International Debt Statistics; IMF International Financial Statistics; and Various IMF Staff Reports.

主な提言事項

- G20に対して：
 - 債務データの報告標準化の推進支援。
 - 新たな貸し手も含めた債務再編枠組みの整備。
 - 長期的な債務管理能力の強化、債務持続性評価枠組みの改善。
- G20／アフリカ諸国に対して：
 - 公共投資管理能力の強化（厳格な事業選定、調達管理、維持管理改善による既存インフラ活用）。
 - 国内資金動員の強化（VAT・所得税へのシフト、法人登記の簡素化、徴税管理への情報技術活用）。
- アフリカ諸国に対して：
 - 債務管理の透明性強化（既往・新規債務の即時情報公開、国営企業等を含む債務データ範囲の拡大）。
 - リスクの高い、不安定な資金への依存引き下げ（潜在的リスクを十分に踏まえたPPP導入、インフラのアセット化）。
 - 対外債務の満期の長期化（国際機関の保証等の積極的活用）。

Thank You Very Much.
We Welcome Your Feedbacks !

JICA RI T20 Team:
jicari_t20@jica.go.jp

**Please visit T20 website of JICA Research Institute
(The 2030 Agenda & Cooperation with Africa)**

https://www.jica.go.jp/jica-ri/news/topics/20181205_01.html